

# 安心できる居場所をめざして！学校における支援体制強化

## 事業概要



### 区立中学校データ

(令和4年5月1日時点)

学校数：22校

学級数：290学級

生徒数：9,349名

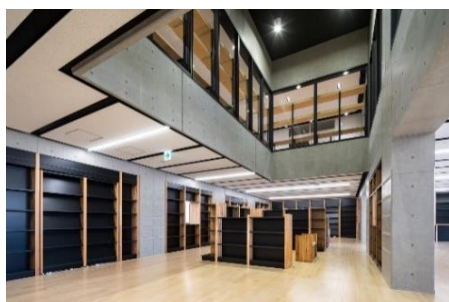
## 子どもが安心して過ごせる学校をめざして

近年の子どもたちは、学業成績・友人関係・家庭環境といった様々な要因から、不登校・いじめ・ヤングケアラー等の複雑かつ高度な問題を抱えています。そのような子どもたちに寄り添い、支援していくことが学校には求められています。

今回、学校における居場所推進事業を拡充するとともに、子どもと学校を支援する専門職を増員し、学校の総合的な課題解決機能を強化していきます。

これにより、子どもたちにとって一番身近な学校において、子どもたちの課題にいち早く気づき、対応する体制を構築し、子どもたちが安心して過ごせる学校づくりをめざします。

## 事業の内容



### (1)学校における居場所推進事業の拡充

学校における居場所推進事業を区立中学校11校に拡充し、教室に入れない生徒が学校内で安心して過ごせる居場所のさらなる充実を図ります。

### (2)スクールカウンセラー(SC)の増員

東京都が各校週1～2回配置しているSCに加え、板橋区独自で各区立中学校に週1～2回追加配置します。学校での活動機会を増やすことで、子どものSOSを素早く察知し、心理的な支援の充実を図ります。

### (3)スクールソーシャルワーカー(SSW)の増員及び学校配置

SSWを5名増員し11名とすることで、区立中学校2校あたりに1名を配置します。また、現在の派遣型から拠点型へと変更し、学校現場に席ができることで、気づきにくい家庭的・生活面的問題を早期発見し、問題が深刻化する前に対応していきます。

### (4)学校の支援体制の強化

民間機関やSC・SSWが学校と連携し、子どもへのより効果的・専門的な支援について迅速かつ適切に対応していきます。

## 予算

85,270 千円

(内訳)  
学校における居場所推進  
SC の増員  
SSW の増員・学校配置

15,680 千円  
47,259 千円  
22,331 千円

## 主管課・問い合わせ先

教育委員会 指導室(学校における居場所推進・SC の増員)  
室 長 氣田 眞由美 Tel3579-2640  
教育委員会 教育支援センター(SSW の増員)  
所 長 阿部 雄司 Tel3579-2189

## 実施の背景・目的

### 誰一人取り残さないための居場所づくり

区は、いたばし学び支援プラン 2025 で、最重点の施策・事業の柱の一つとして、「誰一人取り残さないための居場所づくり」を掲げています。

学校教育において「居場所」は、自身の多様性が認められ、自己肯定感、自己有用感が育まれる場所として重要です。また、学校に来られない児童・生徒にとっても、学校や教室、家庭以外で社会とつながれる「居場所」があることで、社会と関わりを持つ第一歩を踏み出すことができます。今回の取組だけでなく、子どもたちが自らの居場所として選択できるよう、板橋フレンドセンター等でも様々な取組を行い、子どもの居場所づくりを推進していきます。



## 今後のスケジュール

### 学校における居場所推進事業の拡充

令和 5 年 4 月 開始 (一部 5 月開始)

### スクールカウンセラー(SC)の増員

令和 5 年 4 月 増員配置

### スクールソーシャルワーカー(SSW)の増員

令和 5 年 4 月 増員配置

### 学校における居場所推進事業

学校の別室で、地域の方や大学生等が、1 日 3 時間・週 2 日以上、生徒に寄り添い、見守りや相談、学習支援を行う。



### スクールカウンセラー(SC)

公認心理師、臨床心理士、精神科医等臨床心理に関する専門的な知識・経験を有し、児童・生徒や保護者の抱える心理的な悩みに対してカウンセリングを行う。



### スクールソーシャルワーカー(SSW)

社会福祉に関する専門的な知識・技術を有し、生徒の抱える家庭的・生活面的問題へ働きかけを行ったり、児童相談所や福祉事務所等の関係機関とのネットワークを活用するなど、様々な支援方法を用いて課題解決を図る。

